

2019年4月8日

各 位

公益財団法人コスメトロジー研究振興財団
理事長 小林保清

研究助成候補者ご推薦のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当財団では、コスメトロジー（化粧品学）の振興を通して国民の生活を美しく豊かなものとしていくため、平成2年に財団を設立して以来、下記の事業を推進しております。

- (1) 自然科学や社会科学の各分野にわたり、広く関わりを持つ化粧品を総合的に体系化するための調査・研究に対する助成を行う。
- (2) 皮膚の生理機能や老化機構の解明、美容に役立つ素材の研究など、コスメトロジーに関連した生命科学、その他の分野の調査・研究に対する助成を行う。
- (3) コスメトロジーの調査・研究に携わる研究者の海外派遣や招聘に対して資金助成を行う。
- (4) コスメトロジーに関連する研究発表会、セミナー、シンポジウムなどの開催、共催に対して資金助成を行う。

このたび、2019年度の研究助成事業（上記（1）、（2））の内容が決定いたしましたのでご案内を申し上げます。何卒、貴学、貴研究機関の気鋭な研究者をご推薦賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

（ 同 封 書 類 ）

1. 2019年度コスメトロジー研究助成公募要領
2. 同 掲示用ポスター 以上、各1部

なお、候補者推薦書（申請書）は、受付期間になりましたら当財団のホームページ <https://www.cosmetology.or.jp> にてダウンロードできます。

以 上

2019年度 コスメロジー研究助成 公募要領

公益財団法人コスメロジー研究振興財団

理事長 小林保清

コスメロジー研究振興財団は化粧品関連の研究助成課題を下記要領により公募します。

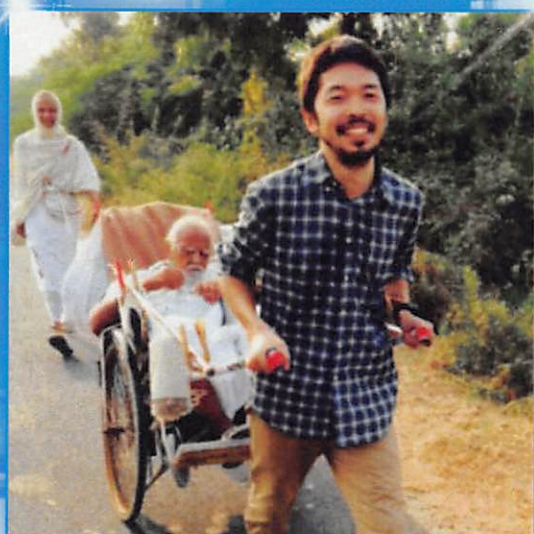
目的	コスメロジー(化粧品学)の発展・進歩に寄与する独創的研究を援助する
対象課題	<p>1. 分野 化粧品学及びそれに関連する基礎的分野の課題</p> <p>分野1 素材、物性に関する分野 分野2 生体作用、安全性に関する分野 分野3 精神、文化に関する分野</p> <p>分野3では、コスメロジーに関連する幅広い分野からの応募に期待しています 感性工学、生理心理学、医療・看護・福祉関連分野、 社会学、比較文化学、芸術論、マーケティング論 など</p> <p>2. 助成の種類 基礎研究、応用研究など研究の種類は問わない、萌芽的研究も含む</p> <p>3. 個人研究を原則とする、共同研究者(海外研究者も含む)があっても良い</p> <p>4. 研究期間は2年以内とする</p>
対象者	<p>日本国内の研究機関に所属する研究者で、下記の人推薦を受けた者とする</p> <p>① 教育機関の場合は所属長(学長又は学部長、研究所長など) ② ①以外の公的な機関・学会・団体の場合は代表者</p>
応募方法	<p>1. 当財団ホームページ (https://www.cosmetology.or.jp) にアクセスし、助成Web登録システムにて登録後、申請書作成の手順に沿ってWeb申請を実施してください</p> <p>2. 申請には、Web申請画面からのアップロードならびに原本書類の郵送が必要です</p> <p>3. 関連文献を添付すること(3論文以内)</p> <p>4. 受付期間 2019年 5月 7日(火) ~ 2019年 7月 8日(月) 必着</p> <p>5. 書類送付先及び連絡先 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3丁目11番8号 ニチト八丁堀ビル5階 公益財団法人 コスメロジー研究振興財団 事務局 電話:(03)3206-7721 / Fax:(03)3206-7720 / E-mail:office@cosmetology.or.jp</p>
選考方法	<p>当財団選考委員会において審査し、理事会にて決定の上、推薦者及び申請者に通知します なお、原則として、同一研究機関、1課題の助成となります</p>
研究助成	<p>1. 1件当たりの助成金額 200万円又は100万円、50万円(選考委員会の裁定による)</p> <p>2. 助成総額 5,000万円</p> <p>3. 助成金の交付時期 2019年12月中旬</p>
報告義務	<p>1. 中間時及び完了後に、研究報告書及び使途報告書を所定の書式にて提出すること</p> <p>2. 本研究に関して外部発表の場合、当該研究が当財団(英文:The Cosmetology Research Foundation)の助成によることを明記し、別刷りを財団事務局に送付してください</p> <p>3. 登録内容に変更が生じた場合には、速やかに財団宛に変更の届出をしてください</p>

注) 当財団は申請内容について秘密を厳守し、個人情報保護法等関連法規に従い、選考や採否連絡など助成関連の業務に限定して使用します。なお、採択された研究課題に関する情報(氏名、所属、研究課題等)は、事業報告書、研究報告集、財団ホームページ、表彰・贈呈式にて公表します。

松下幸之助国際スカラシップ

人文科学・社会科学領域

2019年度 募集要項



募集人員	5名程度(学部生) 15名程度(大学院生・研究機関在籍者)
応募書類・受付期間	2019年6月3日(月)~7月22日(月)
選考方法	9月上旬(書類選考) 9月29日(日)(面接選考) ※書類選考合格者のみ
採否通知	10月中旬



松下幸之助国際スカラシップ

「諸外国との相互理解による国際社会への貢献」に
寄与する研究(人文科学・社会科学の領域)を志す海外留学を
以下の2カテゴリーで助成します。

カテゴリー

1

学部生の留学助成

カテゴリー

2

大学院生・研究機関在籍者の留学研究助成

- ・世界的な視野に立った研究
- ・諸施策の提案、調査研究活動

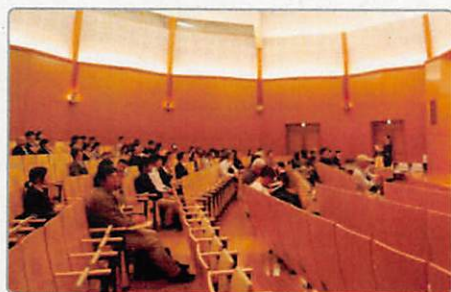
研究・留学帰国後のスカラシップOBの助成・特典について

特典

1

松下幸之助国際スカラシップフォーラム
での発表のチャンス!

- スカラシップでの留学研究成果を発表するフォーラムに参加
- 毎年10月に東京大学弥生講堂にて開催
- 発表者を対象にプレゼンテーション研修会で応援



助成対象者 国別実績

東アジア	韓国	28名
	台湾	6名
	中国	21名
	モンゴル	2名

東南アジア	インドネシア	18名
	カンボジア	10名
	シンガポール	1名
	タイ	16名
	フィリピン	6名
	ベトナム	13名
	マレーシア	6名
	ミャンマー	7名
	ラオス	6名

南アジア	インド	20名
	スリランカ	1名
	バングラデシュ	2名
	ブータン	1名
	ネパール	3名
	パキスタン	2名

中央アジア	ウズベキスタン	6名
	カザフスタン	1名

西アジア	イスラエル	7名
	イラン	3名
	ヨルダン	2名
	シリア	1名
	トルコ	11名
	レバノン	1名

アフリカ	エジプト	4名
	エチオピア	2名
	カメルーン(ガボン)	1名
	ガーナ	1名
	ケニア	1名
	スーダン	1名
	セネガル	1名
	タンザニア	1名
	トーゴ	1名
	ナイジェリア	1名
	マリ	1名
	南アフリカ	3名
	モザンビーク	1名
	モロッコ	3名
	ルワンダ	1名
	レソト	1名

ラテンアメリカ	アルゼンチン	2名
	キューバ	1名
	グアテマラ	1名
	チリ	1名
	ペルー	5名
	ブラジル	3名
	ボリビア	5名
	マルチニック	1名
	メキシコ	4名

助成対象者
累計
248名

特典
2

ブックレット出版に
応募のチャンス!

- 留学研究成果をブックレットとして出版する応募権



ブックレットとして出版

特典
3

出版助成に応募の
チャンス!

- 留学研究成果を単著の学術書として刊行



松下正治記念学術賞として出版

助成対象研究

アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の大学・大学院及び政府研究機関に所属しての調査研究
 この場合のアジアとは西は西アジア※1、中央アジア※2、北はモンゴル、南はインドネシアまでとします。
 アフリカはアフリカ大陸と周辺の島嶼部。ラテンアメリカはメキシコ以南(カリブ海地域を含みます。)

※1:アラビア半島6カ国、アフガニスタン、イラン、イラク、イエメン、レバノン、シリア、ヨルダン、イスラエル、トルコ、キプロス

※2:カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタン

●アジア、アフリカ、ラテンアメリカ研究のための 米、欧、豪州などへの留学・研究は対象外とします。

●調査研究を計画するにあたり、外務省の海外安全ホームページにある渡航情報に十分留意してください。

	カテゴリー 1 学部生	カテゴリー 2 大学院生・研究機関在籍者
応募資格・条件	日本の大学に学部生として在籍する者	日本の大学・大学院ないしは研究機関に 学生・教員・研究員として在籍する者 ※学部生時に当留学助成を受けた者は大学院等に進学した場合も応募可能
	日本国籍を有する者(海外在住者は除きます。)	
	日本国に永住を許可されている者	
	認定式(2020年2月中旬を予定)出席後から2021年3月までに留学・研究を開始する者 ※但し、同期間中に留学・研究が開始できるよう、留学・研究先の選定・入学手続きに関しては申請者本人が行うものとします。 ※所属大学の「交換留学制度」の活用も可(但し、授業料免除など別助成がある場合は不可)。	
	留学・研究する大学等において研究を進めるに十分な語学力を有する者。	
	2019年4月1日時点で年齢40才未満である者 他の奨学金を受給していない者(併願の場合、結果判明次第、当財団と相談してください。)	
募集人員	5名程度	15名程度
支給期間	9ヶ月～12ヶ月(1年) ※学修の都合に応じて	1年～2年 ※3ヶ月単位
奨学金	月額14万円	
	●生活費、入学金、授業料、及び書籍代等研究に必要な諸経費、ならびに保険料など全て含みます。	
	●支給開始は、入学許可証(または受入許可証)及び入国査証提出後とします。	
渡航費	1往復分相当の補助 ※支給額は、渡航先、地域などにより異なります。(財団規定により設定)	
奨学生の義務等	●奨学金受領の際に近況を報告してください。(3ヶ月ごと)	
	●留学・研究期間終了後1ヶ月以内に成果報告書及び会計報告書を提出してください。	
	●認定式(2020年2月中旬を予定、於:大阪市内)に出席してください。	
	●フォーラム等、財団が行う関連の行事に参加してください。	
奨学金支給の停止	次のいずれかに該当するときは、奨学金の全部または一部の支給を停止又は返納を要請します。 - 留学・研究先で在籍する機関から除籍された場合 - 病気その他の事由により所定期間内において目標の達成が困難と当財団が判断した場合 - 申請書類に虚偽の記載があった場合 - 奨学生に相応しくない行為があった場合 - 上記奨学生の義務を怠った場合	

03 選考方法

選考方法

当財団の選考委員会において、スカラシップの目的に合致する有為な人材を厳正かつ公平な選考にて決定します。

- 1次 書類選考(9月中旬に1次選考結果を通知します。)
- 2次 面接選考(時期:9月29日(日)、対象:1次合格者、会場:京都)

採否の通知

「採否」の結果は、10月中旬に電子メールにて通知します。

結果の理由に関するお問合わせには応じかねますのでご了承ください。

04 応募手続

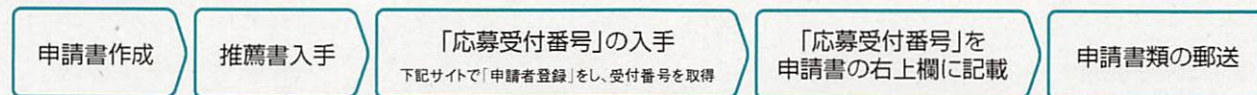
申請書の入手方法

申請書は、財団のホームページに掲載していますので、ダウンロードしてご使用ください。

1 学部生用 http://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/works/jpn/data/mk_shin_gakubu.docx

2 大学院生・研究機関在籍者用 http://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/works/jpn/data/mk_shin.docx

申請方法



申請者登録サイト: <https://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/system/src/form/application.php?mode=3>

- ・下記申請書類(原本一式)を当財団 大阪事務所「松下幸之助国際スカラシップ」係あてに郵送してください。
- ・パソコン(Word)をご使用いただき直接申請書に必要事項を打ち込んでください。
- ・フォントは「12」以上(原則)で記入(但し、No.1 奨学金申請書は除く)してください。
- ・申請時には指導教員 或いは適切と思われる関連分野の専門家(1人に限る)の推薦書を原則として申請書と同封にて送付ください。

申請書類

	1 学部生	2 大学院生・研究機関在籍者
No.1	奨学金申請書	
No.2~No.3	留学計画書	研究計画書
No.4	経費計画書	
No.5	自薦書	
No.6	推薦書 ※指導教員、或いはそれに準ずる者の推薦	

注意事項

- 記載紙面の追加、規格外の紙面の使用および資料添付は受付いたしません。
- 極端に小さな文字を使い字数の多い(縮小コピー貼付も同様)申請書類は受付いたしません。
- 提出いただいた申請書類等は、返却いたしませんので必ずコピーを保管してください。
- 申請書類および推薦書の到着後1週間以内に受領連絡いたしますので、未着の場合は照会願います。
- 申請書類が著しく不備な場合(乱雑な文字も含む)選考対象外になることがあります。

応募書類受付期間:2019年6月3日(月)~7月22日(月)必着

ご応募のお問い合わせは原則としてEメール ajisuka@gg.jp.panasonic.com でご連絡ください。

ホームページの「FAQ」も事前にご確認ください。

ご応募・お問合せ先

公益財団法人 松下幸之助記念志財団
大阪事務所

K.MATSUSHITA FOUNDATION

〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006
1006 Kadoma, Osaka 571-8501, Japan

TEL.06-6908-4488 FAX.06-6908-5817

✉ ajisuka@gg.jp.panasonic.com

2019年4月発行

第35回暁烏敏賞 応募要項

あけがらすはや
暁烏敏は、石川県白山市(旧松任市)に生まれ、古今東西の芸術、哲学に関する万卷の書に学び、人々の深い精神について幾多の評論を著し、20世紀前半の精神文化界に大きな影響を与えました。

白山市では、暁烏敏の優れた功績を讃え末永く顕彰するとともに、伝統文化の継承発展と21世紀を担う子どもの育成を図り、有為な人材の輩出を願って「暁烏敏賞」を設け、国内外より懸賞論文を募集します。

募集内容 第1部門「哲学・思想に関する論文」

私たちの将来の生活に展望や示唆を与える研究論文、または哲人や思想家に関する評論、歴史学や民俗学や文学等の著作についての新しい解釈や評論など。

ただし、文章は、論旨が明快かつ独創的で、全体の構成が整っており、表現が明確で平易であること。(青少年にも「読める」論文が望ましい。)

第2部門「子どもの育成に関する論文・実践記録またはエッセイ」

幼児から若者までの育成を目的とした論文、実践記録またはエッセイ。

テーマは、家庭・学校・スポーツ・文化活動・ボランティア・国際交流・子育て・非行防止・安全教育・いじめ・不登校など、その他、子どもの育成に関するもの。

応募規定 400字詰原稿用紙 第1部門は30～50枚以内、第2部門は20～30枚以内。パソコンの場合は、A4判に見やすく印字。(縦書き、横書きいずれも可)すべて未発表のものとし、800字程度の梗概(論文概要)、応募者の氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号、職業(できるだけ詳細に、学生は学校名・専攻学科)を必ず明記してください。また、製本はクリップまたはステーブルとしてください。

賞	第1部門	1編	正賞「火焰様式楽人像」	副賞50万円
	第2部門	1編	正賞「覚華鏡」	副賞30万円

選考委員 梶田 叡一 [桃山学院教育大学 学長]
川村 覚昭 [佛教大学元教授(教育哲学)]
山本 哲也 [元 NHK金沢放送局 局長]
氣多 雅子 [京都大学 名誉教授]
上原 麻有子 [京都大学 文学研究科教授(日本哲学史専修)]

応募締切 令和元年8月30日(金)必着

応募方法 事務局へ郵送または持参してください。
(暁烏敏賞第1部門または第2部門在中と朱書きしてください。)

選考結果 応募者あてに通知するとともに、市のホームページ上で発表します。

贈呈式 令和元年11月4日(月・振)

その他 ①以前に入選された方の応募資格はありません。ただし、佳作・奨励賞受賞者は応募できます。
②応募作品は原則としてお返ししません。
③選考経過についてのお問い合わせには応じられません。
④受賞作品についての著作権は、すべて主催者に帰属します。

主催 白山市

応募先及び問い合わせ先

〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地 白山市観光文化スポーツ部文化振興課
TEL 076-274-9573 FAX 076-274-9546

前回の入選論文集をご希望の方は、電話等で申し込みください。

また、白山市のホームページでは、過去の全ての入選論文が閲覧できます。

URL http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/kankoubunkasportbu/bunkasin kou/akegarasu_sho/bunka5-1.html
E-mail bunkashinkou@city.hakusan.lg.jp

2019年度 第22回

ちゅうでん 児童文学賞

作品募集

誰のころにも届く
作品のご応募を
お待ちしております

さくら賞 同時募集!!

- **応募要項** 小学校高学年から大人までが楽しめる児童文学作品を募集。テーマは自由。
- **応募規定** 自作未発表の作品。原稿はA4判(横長)に40字×30行縦書きで印字されたものとし、その枚数50~70枚程度。さくら賞のみ、「さくら賞に応募」と明記のうえ、原稿は40字×30行縦書きで20~35枚程度(400字詰原稿用紙の場合60~105枚程度)。日本語で書かれた作品であること。※原稿にはページ数をふり、表紙に、①作品名 ②原稿枚数 ③氏名(ふりがな) ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥年齢 ⑦性別 ⑧職業(学校名) ⑨Eメールアドレス ⑩今回この賞を何でお知りになったかをご記入ください。
- **応募資格** 不問(さくら賞への応募は19歳まで ※締切日時点)

応募先・
お問い合わせ先

(公財)ちゅうでん教育振興財団「ちゅうでん児童文学賞」係
〒461-0005 名古屋市東区東桜二丁目6番30号 東桜会館4階
TEL:052(932)1741 FAX:052(932)1742

締切日 **2019年8月30日(金) 必着**

個人情報の
取扱いについて

当財団が取得する個人情報は本事業に関する選考作業、連絡業務、その他確認業務および財団事業に関する広報活動に限定して使用します。当財団は、受賞候補者および受賞者に関する情報(作品名、氏名、都道府県名)を財団ホームページ・情報誌などに掲載するほか、広報活動のために公開します。

● **賞**

大賞 (1編)

賞状および副賞 **50万円**

大賞作品は単行本として出版し、公共図書館や財団事業にご応募いただいた小・中学校等へ寄贈します。

優秀賞 (2編)

賞状および副賞 **各20万円**

※上記以外に「奨励賞」を授与する場合があります。(賞状および副賞10万円)

さくら賞 (1編)

賞状および副賞 **図書カード5万円分**

さくら賞作品は冊子として発行する予定です。

● **選考委員**
(五十音順)

斉藤 洋 (児童文学作家、ドイツ文学者)

富安 陽子 (児童文学作家)

鷲田 清一 (哲学者、京都市立芸術大学理事・学長)

● **結果発表**

受賞作を2020年3月に、財団ホームページにおいて公表予定。

● **その他**

※大賞受賞作品の著作権は主催者に帰属します。
※応募作品は返却いたしません。



第20回 大賞
「夕焼け色のぬすれもの」
たかのけんいち / 著
(講談社)

令和元年6月5日

学部長 殿
学科長 殿

公益財団法人上廣倫理財団
事務局長 丸山 登

公益財団法人上廣倫理財団（令和元年度） 研究助成公募のご案内

拝啓 初夏の候、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より当財団事業に対し、ご理解とご協力を賜わり有難うございます。

当財団は倫理に関連する学術研究、教育活動の振興育成や社会文化活動の促進を通じて、健全な社会精神の確立を促し社会の発展に寄与することを目的とした公益財団です。これまで当財団は、「倫理」を人間の生き方として広義に捉え、関連する課題に着目している研究者や、東京大学、京都大学、東北大学、オックスフォード大学、ハワイ大学に、助成を実施して参りました。

さて、当財団では昨年度に引き続き、倫理及び倫理教育に関連する学術分野の振興に寄与することを目的とし「令和元年度 研究助成」を実施することとなりました。

本研究助成では、人間の「生命」や「生き方」、社会における「共生」に関して、哲学、倫理学、教育学、心理学等、様々な分野で学術的な研究に取り組まれている若手研究者、女性研究者の支援を目的に独自性が高く将来の発展が期待できる「倫理」研究に助成いたします。

つきましては、同封しております掲示用ポスター（A3判、A4判）及び応募要項を、学部・学科の先生方皆様にお知らせいただきたく存じます。

ご多忙の折に恐縮ですが、何卒ご高配賜わりますようお願い申し上げます。

敬 具

記

（問合せ先）

公益財団法人^{うえひろ}上廣倫理財団 研究助成係（佐々木 健）

〒102-0075 東京都千代田区三番町6番地3

TEL 03-3261-8711 FAX 03-3261-8747 E-MAIL info@rinri.or.jp

ホームページ <http://www.rinri.or.jp>

以上

研究助成募集要項



1 本助成の趣旨

本助成では、人間の「生命」や「生き方」、社会における「共生」に関して哲学、倫理学、教育学、心理学等、様々な分野で学術的な研究に取り組まれている若手研究者の育成を目指しています。

博士課程に在籍もしくは修了しながらも、大学・研究所等の正規の職位を得られず、学術振興会の公的助成を受けていない研究費取得の必要性が高い若手の研究者、また、女性研究者の積極的なご応募を期待しています。

2 応募要件

- (1) 日本国内外の大学・学校及びその附置研究所等の教育機関に在籍し、在籍する機関より応募の承認を得ていること
※ただし博士課程に在籍もしくは満期退学及び修了し、指導教官の推薦状を提出可能な方は、所属に関係なく応募可能といたします。
(推薦状は当財団ホームページ<http://www.rinri.or.jp>より書式をダウンロードして下さい)
- (2) 概ね45歳までの研究者
- (3) 学術振興会の助成等の公的助成を助成期間中・同じ研究で受けていないこと
- (4) 国籍は問いませんが、応募は日本語に限ります

3 助成対象となる研究

- (1) 人間の「生命」や「生き方」、社会における「共生」に関する哲学、倫理学、教育学、心理学等、人文社会科学分野からの研究
- (2) 現代の倫理的課題に関する実態研究及び調査
- (3) 学校における倫理教育・道徳教育に関する研究

4 助成金額

助成金額A=60万円(上限)、助成金額B=100万円(上限)

また、助成受給の次年度の継続も可能です。ただし再審査が必要となります。

(継続助成は、再審査の上、決定します。A・Bの区別にかかわらず1年間で上限60万円)

5 助成金の使途

研究用資料費、旅費交通費、謝金(アルバイト、フィールド調査等)、消耗設備備品費(主たる使途にしないこと)、その他研究に必要な経費(印刷費、通信費、会議費など)

また、当財団は助成金を所属機関に振り込みます。助成金は原則として、全額を直接研究費に充てていただく方針ですので、採択後には必ず所属機関に免除申請を行なってください。

6 助成期間・助成金の支給

助成期間は、令和2年2月1日より1年間とします。ただし、助成金額B(100万円)は2年間とすることもできます。

助成金は令和2年1月中に支給いたします。

※継続助成者については、令和3年2月1日からの一年間をこれに加えます。

7 被助成者の義務

- (1) 令和3年3月31日までに研究論文(8000字以上、字数制限なし)、研究概要(A4で1ページ程度)及び指定の会計報告書を提出していただきます。なお研究論文、研究概要は、選考の上、当財団ホームページに掲載いたします。なお、継続助成者及び2年間の研究については、中間報告書(A4で2ページ程度)を提出いただきます。(提出期限:令和2年12月)
- (2) 助成した研究成果を公表する際には、当財団の助成による旨を明らかにして下さい。
- (3) 助成受給者は、令和2年12月12日(土)上廣倫理財団UFホールで開催されます、研究助成発表会に出席をいただきます。原則的に研究成果についての発表をしていただきます。

8 応募方法

- (1) 所定の申請書に必要事項を記載し、郵送で当財団まで応募して下さい。
申請書は当財団ホームページより書式をダウンロードして下さい。
※ 申請書の「研究計画」欄については、助成期間中もしくは期間終了後に研究成果をとりまとめ、公表できるような具体的な計画を立てて下さい。
- (2) 論文別刷(2013年度以降に発表したもの、コピー可、主なもの最大3点まで)
※ 申請書類は当財団において管理し、研究助成の目的以外には使用いたしません。
※ 原則として申請書類は返却いたしません。
- (3) 提出期間
令和元年6月1日(土) ~ 9月2日(月): 必着
締切後、3週間以内に当財団から電子メールで受理通知を送ります。

9 選考・採否の通知

- (1) 財団が委嘱する学識経験者で構成される選考委員会において審査を行ない、令和元年12月に、最終選考会で審査を行い、正式決定いたします。
- (2) 採否の結果は、決定後申請者宛に通知いたします。(12月下旬)
※採否の理由についてのご照会には回答いたしかねますのでご了承下さい。

10 選考のポイント

- (1) 財団の研究助成の目的や募集する助成対象領域との合致
- (2) 研究課題設定の独自性
- (3) 研究の将来性
- (4) 研究の社会的な意義と効果への期待
- (5) 研究計画の実行可能性、研究助成金の使途内訳など

11 申請書の送付先・問い合わせ先

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3
公益財団法人上廣倫理財団 研究助成係
TEL. 03-3261-8711 FAX. 03-3261-8747
E-mail info@rinri.or.jp

2019年5月

各位

公益財団法人

りそなアジア・オセアニア財団

りそなアジア・オセアニア財団 助成事業募集のご案内

「2020年度 調査研究助成／国際学術交流助成／出版助成」

「2020年度 環境プロジェクト助成」

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当財団の活動につきまして格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

「平成」の元年にスタートしました弊財団も、お蔭さまで昨年度設立30周年を迎えることができました。新たに始まった「令和」の時代におきましては、アジア・オセアニア諸国・地域への理解を更に進め、当該諸国・地域の方々との関わりが「交流」から「協働」へと深化していける様、注力していく所存です。引続きご支持ならびにご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

さて、2020年度の助成プログラムをご案内させていただきます。本事業を是非ニーズのある皆様方へお知らせ頂くとともに、貴組織のホームページやメール等にて幅広くご案内いただければ幸いです。詳細は、同封応募要項をご覧ください。応募書類は当財団ホームページよりダウンロードして頂けます。

末筆ではございますが、皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

(担当：武部、杉浦)

弊財団及び財団事業内容について、右QRより動画でご覧いただけます。



公益財団法人

りそなアジア・オセアニア財団

RESONA The Resona Foundation for Asia and Oceania

Email info@resona-ao.or.jp

URL <http://www.resona-ao.or.jp/>

2020年度 助成事業

調査研究助成

国際学術交流助成/出版助成

応募要項

テーマ

アジア・オセアニア諸国・地域に関する人文・社会科学分野(社会、文化、歴史、政治、経済等)の調査・研究活動や国際会議等の国際交流活動、出版等の啓発・広報活動等への助成

助成の趣旨

当財団は、「人と人のふれあい」を国際交流の原点としつつ、我が国とアジア・オセアニア諸国との相互理解の増進に寄与していくことを目的として設立されました。近年人口減少期に突入した我が国にとって、近隣であるアジア・オセアニア諸国の人々との関係は交流の時代から共存共栄への時代へと変わりつつあり、財団の果たすべき役割も重要度が更に増しているものと認識しております。

なかでも助成事業は、設立時より30年継続して行ってきたメイン事業であり、アジア・オセアニア地域における、人文・社会科学の学問領域において、できるだけ広い分野を対象とし、なかなか助成の手が届きにくいような事業の発掘や、時代の変化に伴う新たな研究対象へも支援しております。特に当制度の特徴として、調査研究費が得られにくい環境にある若手研究者への助成へ力点を置いており、アジア・オセアニア地域との相互理解と更なる関係深化へ未来志向で貢献していきたいと考えております。

応募期間

2019年6月10日～2019年7月31日(必着)



公益財団法人

りそなアジア・オセアニア財団

調査研究
助成
(個人研究)

【助成対象】

アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の人文・社会科学分野の調査・研究活動に対する助成

【応募資格】

- ※日本の大学もしくは研究機関等に所属する方からの推薦が得られる個人
※原則として教授、所属長、責任者クラスの方
- 原則として2020年4月1日現在において、年齢が満39才以下の方

前年度迄は35才以下の方を対象としてきましたが、今年年齢基準を引上げ39才以下の方まで応募資格を広げています。

【助成(事業)期間】

1年もしくは※2年(事業開始日:2020年4月1日)

※期間2年で助成採択された場合は、2年目も申請書を提出して選考を受けていただきます。

【助成金額】

50万円～100万円(万円単位)

助成期間1年に対する金額であり、金額は活動の内容及び規模により、案件毎に査定します。

【過去採択状況】

	申込件数(新規)	採択数	採択率
H31年度	78件	14件	17.9%
H30年度	84件	17件	20.2%
H29年度	64件	10件	15.6%

調査研究
助成
(共同研究)

【助成対象】

アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の人文・社会科学分野の調査・研究活動に対する助成

【応募資格】

- ※日本の大学もしくは研究機関等に所属する方からの推薦が得られる個人
※原則として教授、所属長、責任者クラスの方
- 原則として2020年4月1日現在において、申込者(代表者の)年齢が満39才以下の方

前年度迄は35才以下の方を対象としてきましたが、今年年齢基準を引上げ39才以下の方まで応募資格を広げています。

【助成(事業)期間】

1年もしくは※2年(事業開始日:2020年4月1日)

※期間2年で助成採択された場合は、2年目も申請書を提出して選考を受けていただきます。

【助成金額】

50万円～200万円(万円単位)

助成期間1年に対する金額であり、金額は活動の内容及び規模により、案件毎に査定します。

【過去採択状況】

	申込件数(新規)	採択数	採択率
H31年度	11件	2件	18.2%
H30年度	10件	2件	20.0%
H29年度	24件	3件	12.5%

国際学術
交流助成

【助成対象】

アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の人文・社会科学分野に関する国際会議・シンポジウムの開催、および同分野の研究者交流(人材招聘、人材派遣)に対する助成

【応募資格】

- ※日本の大学もしくは研究機関等に所属する方からの推薦が得られる個人
※原則として教授、所属長、責任者クラスの方

【助成(事業)期間】

1年(2020年4月1日～2021年3月31日)

【助成金額】

50万円～200万円(万円単位) 金額は活動の内容及び規模により、案件毎に査定します。

【過去採択状況】

	申込件数	採択数	採択率
H31年度	16件	4件	25.0%
H30年度	15件	4件	26.7%
H29年度	7件	2件	28.6%

出版助成

【助成対象】

アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の調査研究成果にかかる出版助成、および出版に準ずる広報活動への助成

【応募資格】

※日本の大学もしくは研究機関等に所属する方からの推薦が得られる個人

※原則として教授、所属長、責任者クラスの方

【助成(事業)期間】

1年(出版物刊行期限:2021年3月31日)

【助成金額】

50万円~120万円(万円単位) 金額は活動の内容及び規模により、案件毎に査定します。

【過去採択状況】

	申込件数	採択数	採択率
H31年度	18件	2件	11.1%
H30年度	13件	2件	15.4%
H29年度	17件	2件	11.8%

助成金の
用途制限

助成金の使用は、助成対象事業の実施に直接必要となる経費とし、以下の費用は助成の対象となりません。

1. 営利を目的とした調査研究活動
2. 個人が一般的に使用するパソコン等機器類の購入費用
3. 学会等への出席に係る経費

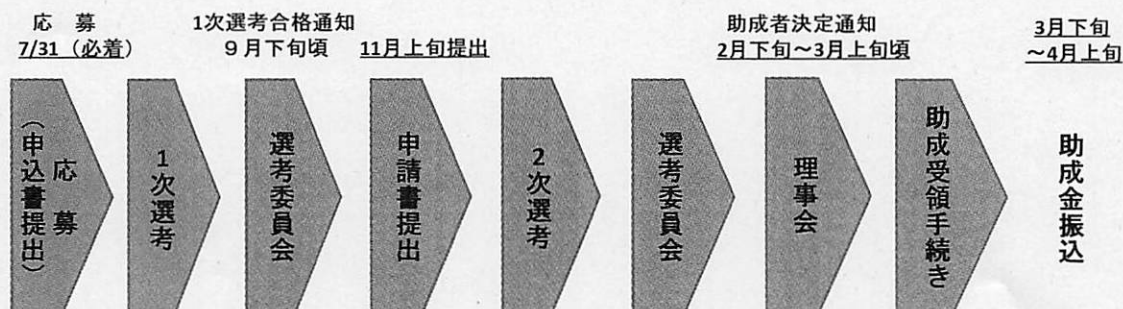
受給者の
義務

助成金受給者は弊財団と『覚書』を締結し、これに基づき、助成期間中1年毎に中間報告書、活動内容要約、会計報告書を、終了後には活動完了届、活動報告書、活動内容要約、会計報告書をそれぞれ提出いただきます。

選考方法

- 1次選考: 申込書提出による書面審査 選考委員会にて合格者(2次選考者)を決定
2次選考: 申請書提出による書面審査 選考委員会にて助成案件候補を選出し理事会にて助成者決定

選考
プロセス



弊財団所定の「申込書」に必要事項を記入の上、弊財団宛書留便にてお送り下さい。

(書式は弊財団HPに掲載しております。ダウンロードして作成願います。)

URL http://www.resona-ao.or.jp/project/promotion_application.html

(注)送付の際は、「申込書(原本)」に「写し(A4)7部」(各部毎セットしたもの)

並びに「返信用封筒(角2号240x332 mm)120円切手貼付・返信先を明記」を同封願います。

応募方法

<募集期間>

2019年6月10日~2019年7月31日(必着)

<送付先>

公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団

〒541-0051 大阪市中央区備後町2丁目1番8号 備後町野村ビル7階

電話 (06)6203-9481 E-Mail : info@resona-ao.or.jp

留意事項

- ・提出いただいた「申込書」「申請書」等は、返却いたしません。
- ・採否結果の理由に関するお問い合わせには応じ兼ねますので、ご了承下さい。
- ・過去に財団から助成を受けた方は、同じ区分の助成を再度受けることは出来ません。
- ・当該事業年度において、日本学術振興会の科研費を代表者として受けられることが決定した方は、原則として当財団助成金受領は辞退いただきます。

2019年度 助成決定事業（活動期間：2019年4月1日～2020年3月31日）

調査研究助成《個人研究》

研究課題	研究者	研究者所属	助成金額
1899～1962年サモアにおける政治の近代化に対する現地住民の対応	矢野 涼子	神戸大学大学院 国際文化研究科 博士後期課程	700,000円
北部タイにおけるコン・ムアンの民族的アイデンティティ生成過程に関する人類学的研究	斎藤 俊介	首都大学東京大学院 人文科学研究科 社会行動学専攻 博士後期課程	970,000円
宝山製鉄所建設をめぐる一連の政策決定―開発主義への転身	李 彦銘	東京大学教養学部 グローバルコミュニケーション研究センター 特任講師	450,000円
ポル・ポト政権期後の社会主義体制下カンボジアにおける教育再建の歴史的意義―地方都市に生きた教師の人生・語りによる認識と実践から―	千田 沙也加	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 博士後期課程 大学院生	570,000円
自文化への参入を許容する論理 ―他者が参加するニュージーランド・マオリの民族芸能をめぐる―	土井 冬樹	神戸大学大学院 国際文化研究科 博士後期課程	880,000円
せめぎあいの場としての村落 ―ネパール、グルン社会における宗教的対立をめぐる人類学的研究	吉元 菜々子	首都大学東京大学院 人文科学研究科 博士後期課程	680,000円
現代イランにおける宗教性に関する人類学的研究	谷 憲一	一橋大学大学院 社会学研究科 博士後期課程	750,000円
清朝国家と漢人軍団―「華夷変態」下の東アジア世界	林 慶俊	東京大学 総合文化研究科 博士課程	750,000円
オーストラリアにおける技術移民の支援策と差別化策 :457カテゴリビザの運用とロイヤル・メルボルン開港事業にみる 日本社会への応用可能性の検討	小野塚 和人	神田外国大学 外国語学部 英米語学科・専任講師	650,000円
カンボジアの伝統医療に関する人類学的研究:クルー・クマエを対象として	中野 惟文	東北大学大学院 文学研究科 博士課程後期3年の課程 2年	690,000円
冷戦期東アジアにおける「境界」管理―大村収容所を中心に―	李 英美	一橋大学大学院 社会学研究科 博士後期課程	450,000円
20世紀前半の満洲都市の商業・生活空間の形成と変遷 ―日・中・露の連携と競争を中心に―	楊 昱	九州大学 人文科学研究員 助教	750,000円
インド・ナガランド州における第二次世界大戦の記憶 ―継承と観光開発をめぐる近年の動向	渡部 春奈	一橋大学/デリー大学 社会学 博士後期課程	490,000円
移民とホスト集団の異質的選好に関する実証研究 ―越境するミャンマー人の農村労働・結婚市場への参入―	翟 亜蕾	京都大学大学院 経済学研究科 特定助教	450,000円
中国仏教石窟寺院のデザインの展開と変遷に関する研究 ―雲岡石窟における“皇帝のためのデザイン”からの転換期に着目して―	因幡 聡美	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 世界文化遺産学専攻 博士後期課程	610,000円
フィリピンにおける米軍基地問題を巡る政策決定過程と安全保障上の効果	大澤 傑	駿河台大学法学部 助教	600,000円
英領ビルマにおける「人種/民族」「宗教」をめぐる キリスト教的動向の諸相の解明:1860-1915	藤村 暉	上智大学大学院 グローバルスタディーズ研究科 博士後期課程	620,000円

調査研究助成《共同研究》

研究課題	研究者	研究者所属	助成金額
ソ連期における民族文化の変容―現カザフスタン共和国を中心として―	齋藤 篤	早稲田大学 人間科学学術院	750,000円
中央アジア出土東ローマ帝国貨幣の基礎的調査	村田 光司	名古屋大学 高等研究院 特任助教	1,000,000円

国際学術交流助成


企画名	代表	代表者所属	助成金額
「PPN9東京:第9回西アジア新石器時代石器研究国際会議」 (PPN9-Tokyo:The 9th International Conference on the Pre-Pottery Neolithic Chipped and Ground Stone Industries of the Near East)	西秋 良宏	東京大学総合研究博物館・教授	1,200,000円
国際会議“Sustainable Built Environment Conference 2019 in Tokyo(SBE19Tokyo)”の開催	野城 智也	東京大学生産技術研究所・教授	1,000,000円
The Politics of War-related Heritage in Contemporary Asia - Promoting Reconciliation or Stoking Tension?	VICKERS, Edward Anthony	九州大学 人間環境学研究院・教授	940,000円
中央アジアを介したアフガニスタン支援のあり方についての国際会議 ―エネルギー貧困問題解決による社会の安定化の可能性について―	福垣 文昭	秋田大学大学院国際資源学研究科・講師	1,160,000円

出版助成

著作物名	著作者	著作者所属	助成金額
上海プロテスタントの宗教空間	村上 志保	明治学院大学・キリスト教研究所 協力研究員	1,200,000円
在日外国人看護師の10年 ―二国間経済連携協定に基づく外国人看護師の受入れは何をもたらしたか―	平野 裕子	長崎大学生命医科学域保健学系・教授	1,200,000円

【助成事業（平成29年～平成31年）通算助成実績】
 助成件数 505件
 助成者数 322名
 助成金額 664,100万円

財団及び財団事業内容については、右QRコードより
 動画にて確認できますので、
 ご覧下さい。



調査研究助成 合計 19件 12,810,000円

国際学術交流助成 合計 4件 4,300,000円

出版助成 合計 2件 2,400,000円

2020年度 環境プロジェクト助成

応募要項

テーマ

アジア・オセアニア諸国・地域における水や緑をテーマにした自然環境の保護や整備を目的とする支援事業

助成の趣旨

当財団は、アジア・オセアニア諸国における水や緑をテーマにした自然環境の保護・整備などの事業（プロジェクト）をおこなう方へ助成を行っています。

自然環境の保護・整備というと、大がかりな事業を考えがちですが、ちょっとした創意と工夫で、小さな活動でも大きな成果を生む事があります。地域の人たちを活動に巻き込む事、がその創意と工夫だと思います。ちょっとした「きっかけ」で、あとは自発的に人々が活動や事業を継続していく。その「きっかけ」づくりとなるような事業へ、我々財団は助成できればと思います。別の言い方をすれば、小さな事が大きく育つことの「媒介 (mediation)」という事になります。

地域の方々の生活実態や文化を無視した事業に「持続性」はありません。自然保護が、地域の人々の生活を守ることになり、さらには生活の質の向上につながる、そのような助成ができればと思います。

応募期間

2019年6月10日～2019年8月31日 (必着)



公益財団法人
リそなアジア・オセアニア財団

助成対象
事業

アジア・オセアニア諸国や地域における豊かな緑ときれいな水を守る事業で、財団助成趣旨に沿った内容のもの。

ただし、当該地域において既に萌芽的な活動が行われ、事業者がその活動へ何らかの形で関与しているものに限る。

※事業内容が調査研究主体のものや、支出計画が海外出張費のみの事業は、助成対象としません。

応募資格

1. ※¹日本の大学もしくは環境保全活動、国際協力活動を行う団体・会社等に所属する方からの推薦が得られる※²個人

※1:原則として、教授、組織代表、役員クラスの方

※2:組織・団体の方も、応募は当該事業代表者等(個人名)でお願いします。

2. 活動地域(アジア・オセアニア地域)の現地において、当該事業の共同事業者(協力者)がいること。

*いずれの要件も満たしている必要があります。

*応募回数の制限はございません。

助成期間

1年～3年(年単位:事業開始日2020年4月1日)

*複数年で採択された場合は、毎年申請書の提出を求めて選考を受けていただきます。

助成金額

助成期間1年につき、50万円～100万円(万円単位)

*助成金額は、活動の内容及び規模により、案件毎に査定します。

採択実績

	応募件数(新規)	採択数	採択率
2019年度	23件	5件	21.7%
2018年度	15件	3件	20.0%
2017年度	12件	7件	58.3%

選考基準

下記事項を総合的に勘案し、採択可否を判断します。

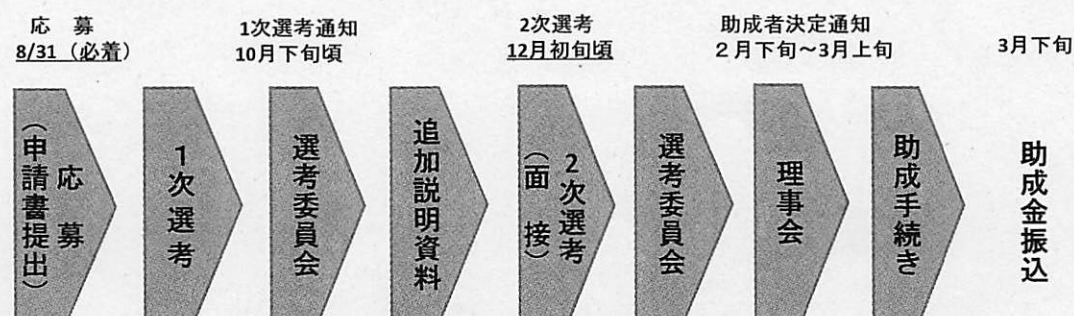
- ・事業全般の助成趣旨との相応性
- ・事業内容の新規性、独創性と環境保全への貢献度合
- ・事業計画の周到性、及び遂行可能性
- ・事業計画における資金使途の妥当性
- ・事業成果の具現性

選考方法

1次選考:申請書提出による書面審査。選考委員会にて合格者(2次選考者)を決定。

2次選考:面接を実施し事業内容を質疑応答。選考委員会にて助成案件候補を選出し、理事会にて助成者決定。

選考
プロセス



助成金の 用途

対象事業の実施に直接必要となる経費とします。
管理業務用のパソコン等機器類の購入費用や、学会出席など調査・学術研究目的の支出は認めません。

受給者の 義務

助成金受給者は当財団と『覚書』を締結し、これに基づき、助成期間中1年毎に中間報告書、活動内容要約、会計報告書を、終了後には活動完了届、活動報告書、活動内容要約、会計報告書をそれぞれ提出いただきます。
また、財団は当事業を助成受給者との協働作業と考えています。事業開始後、当初計画どおり進まない状況に陥ったり、計画外の試みを実施したい場合などには、必ず財団へ連絡を入れ、状況共有と対応協議をおこなって下さい。

弊財団所定の「申請書」に必要事項を記入の上、弊財団宛書留便にてお送り下さい。
(書式は弊財団HPに掲載しております。ダウンロードして作成願います。)

URL http://www.resona-ao.or.jp/project/environment_application.html

(注)送付の際は、「申請書(原本)」に「写し(A4)6部」(各部毎セットしたもの)並びに「返信用封筒(角2号240x332 mm120円切手貼付・返信先を明記)」を同封願います。

応募方法

<募集期間>

2019年6月10日～2019年8月31日(必着)

<送付先>

公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団

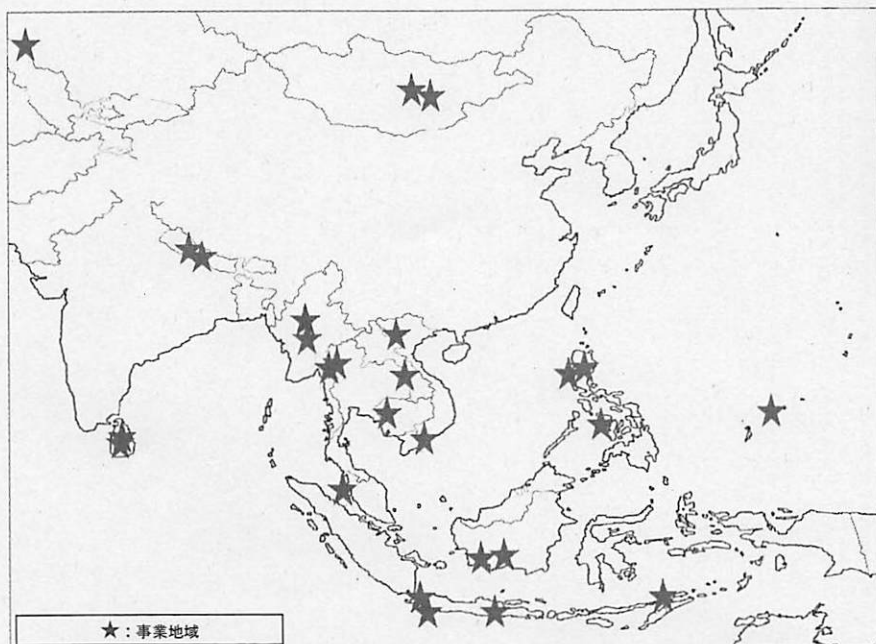
〒541-0051 大阪市中央区備後町2丁目1番8号 備後町野村ビル7階

電話 (06)6203-9481 E-Mail : info@resona-ao.or.jp

留意事項

- ・提出いただいた「申請書」等は、返却いたしません。
- ・2次選考面接(開催地:大阪)の交通費は、自費となります。

《助成事業実施地域マッピング》



～環境プロジェクト助成実績～

【平成24年～平成31年】

支援事業数 29件

支援総額 71百万円

財団及び財団事業内容については、右QRコードより動画にて確認できますので、ご覧下さい。



助成活動紹介

助成者：丸山 幸子
 所 属：F.C Manis. マニスファンクラブ 代表理事
 助成期間：2017年4月～2020年3月（3年間）活動中
 活動場所：インドネシアボルネオ島パンカランプーン

森林火災からボルネオの森を市民で 守る防災予防と環境保全活動

【事業目的】

2015年野焼きが広がり自然保護区約13万ha(神奈川県約半分の面積)の森が焼失した。これを受け森林火災をいかに未然に防ぐかを目標に「環境教育」「防災」「植樹」を連携させ、校外学習を通して環境意識を向上させ森林の防災を心がけられるようにする。

将来的に住民が自然保護区の環境保全を行うことを目的とした取り組み。



助成者：水野 広祐
 所 属：京都大学東南アジア地域研究研究所 教授
 助成期間：2017年4月～2020年3月（3年間）活動中
 活動場所：インドネシアジャカルタ及び周辺地域

ジャカルタのため池再生のための水と緑の活動

【事業目的】

住民によるため池の再生維持とため池文化の発展に向けた支援活動。ジャカルタ及び周辺地域には、約千のため池があり、昔から多くの機能（灌漑や飲料の確保、洪水対策など）を担っているが、近年開発のため埋立が進められ縮小傾向、また住民のため池意義の理解が低く、ゴミの不法投棄や排水を流すなど悪化状態となっている。



2019年助成決定事業（活動期間：2019年4月1日～2020年3月31日）

事業タイトル	代表者	代表者所属	助成金額
インドネシアにおける「森の聞き書き」環境教育プログラム —自立的な仕組みの構築をめざして	島上 宗子	(一社)あいいいネット 副代表理事	1,000,000円
スクールガーデンで学ぶパーマカルチャー :東ティモールの環境保全型農業の推進	飯塚 宜子	京都大学 東南アジア地域研究研究所	1,000,000円
ジャカルタのため池再生のための水と緑の活動	水野 広祐	京都大学 東南アジア地域研究研究所 教授	1,000,000円
森林火災からボルネオの森を市民で復興する、 防災と環境保全活動	丸山 幸子	F. C. Manis. (マニスファンクラブ) 代表理事	1,000,000円
北部タイの山岳地域における土と水の保全	凌 祥之	九州大学大学院 農学研究院 教授	1,000,000円
ラオスのコーヒー栽培地域における農業の多様化促進を 通じた生態系保全	箕曲 在弘	東洋大学社会学部准教授/ NPO法人APLA理事	920,000円
地震被災地へバイオガスプラント設置による森林及び環境保全と 環境教育による持続可能な地域づくりをめざした活動	熱田 典子	(公社)アジア協会アジア友の会 副事務局長	1,000,000円
フィリピンの山村マリナオ村における、自然環境とアバカ・ マクラメ編みとの調和による持続可能な村の暮らしの再生	河西 実	NPO法人フェア・プラス 常務理事・事務局長	1,000,000円
ベトナム・メコンデルタにおける有機農業の実践と青少年への 環境教育による環境保全型の地域づくり	伊能 まゆ	特定非営利活動法人Seed to Table 理事長	1,000,000円
シンハラージャ森林におけるエコツーリズムを通じた環境保全	高橋 知里	特定非営利活動法人パルシック	1,000,000円
アラルの森プロジェクト	石田 紀郎	特定非営利活動法人市民環境研究所 代表理事	970,000円
インドネシア・ロンボク島における「ごみ銀行」 活動発展プログラム	山本 かおり	NPO法人ゆいツール開発工房(ラボ)	1,000,000円
ミャンマー中央乾燥地域における青少年を対象とした 植林活動と環境教育の推進	永石 安明	公益財団法人オイスカ 事務局長	1,000,000円

環境プロジェクト助成 合計 13件 12,890,000円

2019年度 研究助成要綱

公益財団法人 栢森情報科学振興財団

1. 助成研究の適格要件

次の各号の要件を満たすもの

- (1) 情報科学に関する学術的發展に寄与する研究であること
- (2) 研究の計画および方法が、目的を達成するために適切であり、かつ十分な成果を期待し得るものであること
- (3) 研究を実施する者（研究実施者）が、研究を計画に従って遂行するに足る能力を有すること

2. 研究テーマ

情報に関する科学の基礎的・萌芽的または総合的研究

3. 研究助成金の限度額

助成総額 2,000万円（1件あたり最高200万円まで）

4. 助成研究募集期間

2019年6月1日（土）～2019年8月31日（土）

5. 研究助成金の交付決定

2019年11月中旬の予定

6. 研究助成の対象となる経費

助成の対象となる経費は、研究者本人の人件費（給料等）以外の経費とし、機械器具装置の購入費や賃借料、旅費、消耗品費、謝金等が含まれる。

7. 研究完了日

研究助成金交付決定後2年以内

8. 助成研究の選考・決定方法

- (1) 当財団の選考委員会において、応募者から提出された研究助成金交付申請書に基づき、厳正に選考し助成額を決定する。
- (2) 応募者の機会均等化を期するため、助成された方は、原則としてその年度以後3年間は、選考の対象とされない。

9. 研究助成金の交付

- (1) 研究助成金の交付は、前払いの方法により行われる。
- (2) 交付された助成金は、研究の成功不成功にかかわらず、その返還を求めないこととする。ただし、助成研究実施計画書に記載した研究が実施されなかった場合、および研究実施者が当財団の規定等に違反した場合には、研究助成金の一部または全部を返還していただくことがある。

10. 報告書等

- (1) 助成研究が完了したときは、研究実施者は、助成研究完了の日から30日以内に完了報告書を提出しなければならない。
- (2) 助成研究計画を中止しようとするときは、当財団に届け出て指示を受けねばならない。

11. 助成研究成果の帰属

助成研究によって取得された知的財産権は、研究実施者に帰属することとする。ただし、助成研究成果を特許、実用新案または意匠登録として出願し、その後、特許権、実用新案権または意匠権を取得したときは、速やかにその旨を当財団に届け出ねばならない。

また、当財団は「特許庁長官指定学術団体」として指定されているので、当財団が主催または共催する研究集会で文書で以って研究成果を発表した場合であつて、その発表後6ヶ月以内にこれにつき特許、実用新案の出願をしたときは、その発明または考案は新規性喪失の例外とされている。この適用を受けるには、当財団の証明書が必要となるのでその旨を申し出られたい。

12. 助成研究の成果の発表

- (1) 助成研究の成果については、当財団の機関誌等への掲載または講演会等における発表などをしていただくことがある
- (2) 研究実施者は、助成研究の成果を学会等で発表する場合には、当該研究が当財団の助成を受けて実施されたものである旨を明示されたい。

以上

2019年度 フォーラム・シンポジウム等開催助成要綱

公益財団法人 栢森情報科学振興財団

1. 応募条件

情報科学に関する学術的発展に寄与する国際会議、学術講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会・研修会であって、2019年12月1日から2021年3月末までの間に開催されるものであること。

2. 助成金の限度額

年度内助成総額 200万円 (1件あたり最高100万円まで)

3. 募集期間

2019年6月1日(土)～2019年8月31日(土)

4. 助成対象となる経費

- (1)謝金、旅費、会場費、人件費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等。
- (2)申請書の予算内容欄には、当財団からの助成分のみでなく予算の総額について、記入されたい。

5. 選考・決定方法

- (1)当財団の選考委員会において、応募者から提出された助成金交付申請書に基づき、厳正に選考し決定する。
- (2)助成額は、選考委員会の選考結果に基づき決定される。
- (3)応募者の機会均等化を期するため、採択された団体等は、原則としてその年度以後3年間は、選考の対象とされない。

6. 応募方法

- (1)申請書は実行責任者を通して提出してください。
- (2)申請時、内容について未定事項のある場合はその旨を付記されたい。

7. 選考結果の通知及び助成金の交付

- (1)選考委員会の選考結果は2019年11月上旬に通知する。
- (2)助成金は、開催が確定している場合は、請書等所定の書類の受理により、ただちに指定された金融機関口座に送金する。

8. 開催後の報告書提出

- (1) 終了後3ヶ月以内に報告書を提出されたい。
- (2) 支出については、領収書があればコピーを添付されたい。
- (3) フォーラム・シンポジウム等開催の資料は申請時に添付するほか、関連印刷物を発行する場合は送付されたい。

以上

2019 年度

安倍フェロシップ・プログラム申請説明会

安倍フェロシップ・プログラムは、日本と米国における長期的な重要政策課題を研究対象とし、グローバルな研究ネットワークの一員となる次世代の研究者の育成を目指しています

安倍
ABE
FELLOWSHIP
PROGRAM

東京



日時：2019年7月9日(火) 午後1時半～3時

場所：国際交流基金 2階 JFIC さくらホール
東京都新宿区四谷 4-4-1

<http://www.jpfc.go.jp/j/access/map.html>

講師：西川 邦夫 2016年安倍フェロー
茨城大学農学部地域総合農学科 准教授

大阪



日時：2019年7月11日(木) 午後5時半～7時

場所：関西大学梅田キャンパス Kandai MeRise 7階 705号室
大阪府大阪市北区鶴野町 1-5

<http://www.kansai-u.ac.jp/umeda/access/index.html>

講師：岡本 章 2015年安倍フェロー
岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授

申請締め切りは毎年9月1日です。

詳しくは下記のウェブサイトをご参照ください

www.abefellowship.info

お申込み方法

FAX:03-5369-6142

Eメール: abetokyo@ssrc.org

お名前・ご所属・電話番号・メールアドレスをご明記の上、お申込みください。

*ご記入いただく個人情報はこの催しに関する連絡のほか事後の評価・調査および今後のご案内のために使用させていただきます

お問合せ：SSRC 東京事務所 TEL:03-5369-6085 平日 10:00～18:00

[ホーム](#) > [プログラム](#) > [安倍フェローシップ・プログラム](#) > [募集概要（研究者）](#)

安倍フェローシップ・プログラム

募集概要（研究者）

安倍フェローシップ募集要項（研究者等対象）

国際交流基金日米センター（The Japan Foundation Center for Global Partnership）および[米国社会科学評議会（Social Science Research Council）](#) は、安倍フェローシップ・プログラムの申請公募を行ないます。安倍フェローシップ・プログラムは国際交流基金日米センターの出資をもとに運営されています。

安倍フェローシップの目的

本プログラムは、現代の地球的な政策課題で、かつ緊要な取り組みが必要とされる問題に関する学際的、国際的な調査研究の増進を目的としています。また、長期的に政策指向的研究に従事する新世代の研究者の成長を支援し、そのような政策課題をテーマとして共有する研究者の日米2国間ならびに全世界的ネットワークに主要なメンバーとして積極的に関わっていく人材の育成を目指しています。さらに、地球的な課題解決と国際理解増進に取り組む日米の学術、および専門家のコミュニティ間に新しい知的協力の場を築くことに重点がおかれています。

安倍フェローシップの対象となる研究課題

安倍フェローシップは個人の調査研究プロジェクトに対する奨学金制度です。その目的は、社会科学とその関連学問領域における高度な研究を促進し、以下の4つのテーマをめぐる研究者間の新しい協働関係とネットワークを形成すること、また、これら研究者に対して新しいデータや情報源を提供し、比較研究あるいは国境を越えた視点に立った研究に従事するコミットメントを引き出していくことです。学者、研究者、また学界以外の各分野の専門家からの応募を歓迎します。

対象となるプロジェクトは次の4つのテーマのいずれか、または2つ以上のテーマの組み合わせに該当する社会科学ならびにその関連学問領域の研究とします。

テーマ

1. 個人・社会・国際的な安全保障に対する脅威：

食糧、水、エネルギーの供給不安定、疫病の世界流行、気候変動、災害をめぐる準備・予防・回復、紛争・テロリズム・インターネッ

ト・セキュリティの問題など。

2.成長と持続的な発展：

グローバル金融の安定性、貿易の不均衡と協定、グローバリゼーションへの適応、気候変動への対応、貧困と不平等など。

3.社会・科学・文化のトレンドと変容：

高齢化や人口変化、生殖遺伝学の利点と危険性、ジェンダーと社会的疎外、女性やマイノリティへのSTEM教育の広がり、人口移動、過疎化と都市化、仕事自動化の影響、貧困と不平等、コミュニティの回復力など。

4.ガバナンス、エンパワーメントと市民参加：

民主主義制度、参加型ガバナンス、人権、NGO/NPOの役割、新しいメディアの発展、イノベーション推進における政府の役割など。

各テーマに共通して、今日の政策論議に重要な知的貢献をなし得ること、あるいは理論的、経験的に新天地を開拓するものであることが明確に示された研究プロジェクトであることが望まれます。その中で、平和で安定的かつ公正な国際秩序の形成を促進する、あるいは世界各地のコミュニティが抱える様々な課題を克服することに資するプロジェクトが優先されます。申請者は申請する調査研究プロジェクトが当該テーマをめぐる既存の研究業績をどのように超えていこうとしているかが計画の中に明確に示されている必要があります。またどのように本人の過去の業績や技能の上に立って新しい知的領域に移行しようとしているものなのかを明示することが期待されています。

なお本プログラムは調査研究を支援するものであって、申請されたプロジェクトの目的が旅行のみであるもの、あるいは語学研修を主とするものなどについては対象になりません。但し、語学の個人授業や再訓練コースの受講については、研究プロジェクトにとって必要であると研究計画の中で十分に説明されていれば、研究費用の一部として認められる場合があります。

採用基準

安倍フェロシップ・プログラムは、単に1カ国に関する理解を深めるよりも、比較あるいはグローバルな視点を有する研究を奨励します。また、異文化間の深い理解に資する研究を促進していきます。審査委員会は、申請された研究プロジェクトの中に次の3つの特性、(1) 政策関連性、政策指向性があること、(2) 現代的な課題を扱っていること、(3) 米国や日本に関する研究をより広範な学問分野や理論上の議論に引き上げるような比較研究的視点、あるいは国境を越える視点があること、が明示されていることを採用上の重要な基準とします。

政策関連性 (Policy Relevance)

安倍フェロシップは、政策関連研究を、(1) 公共政策やその結果の研究、また、(2) 効果のより高い政策を案出する研究と定義しています。また、社会の様々なセクターにとって議論の対象となっている今日的な問題の研究にも、政策関連性を見出すことができるでしょう。申請される研究プロジェクトには、テーマ、内容、計画の各々において、政策関連性が明示されていなければなりません。

現代的な課題 (Contemporary Focus)

本プログラムは、今日的な課題に取り組む調査研究プロジェクトを求めます。すなわち対象となる課題は現在行なわれている調査研究や論議に関連するものとし、したがって、歴史的研究を行なう場合、その研究がいかんして現在の政策課題の理解と解決に必要な情報を提供し得るのが具体的に示されていることがポイントとなります。

比較研究あるいは国境を越える視点 (Comparative or Transnational Perspectives)

1カ国研究的なものではなく、研究の対象とする問題や諸事象を時間的及び空間的に比較することを主眼とした研究であることが必要


です。申請者は研究計画の構築とその目標を通して、その研究プロジェクトがどう比較的なのか、あるいは国境を越える視点を持っているのかを明示することが必要です。

こうした研究の典型として、複数国のデータ収集、あるいは異なる時期におけるデータ収集を含むものがあげられます。安倍フェロシップでは、1カ国のみでのデータ収集は、比較的または国境を越える視点での研究を目的とすることが明らかな場合に限り認められます。この場合、そのデータが1カ国にとどまらない比較の見地からの意味を持つことを研究計画で明示的に説明してください。なお、研究対象が各国に共通してみられる現象であると述べるだけでは、プロジェクトの比較的視点を十分に説明していることにはなりません。

申請資格

- 日本国籍または米国民権の保有者。
もしくはその他の国籍保有者で、日本または米国に長期にわたる研究拠点を有する者。
- 博士号 (Ph.D.) もしくは当該分野での最高学位、または専門分野での同等の経験を有する者。
- 語学の習得度については資格上の要件ではありませんが、申請する調査研究の内容からして語学力が不可欠と判断されるものについては、プロジェクトを完遂させるために必要十分な語学力の証明書を提出することが求められます。
- 学界以外の専門家からの申請も歓迎します。ただし、安倍フェロシップによる研究の成果が、その課題に関する既存の知的蓄積に寄与することが期待されています。なお、ジャーナリズムに携わっている方は「安倍ジャーナリスト・フェロシップ募集要項」をご覧ください。
- 重要な政策課題に関する研究または具体的政策提言を意図する研究の場合、その目的や内容が党派的とみられるものは安倍フェロシップの対象となりません。

注：同じ年度内（4月1日から翌年3月31日）に国際交流基金が出資するフェロシップを2つ以上受給することはできません。

また、[国際交流基金フェロシップ](#)  を現在受給中、ないしは今年度受給開始予定の方は、今年9月締め切りの安倍フェロシップへの申請はできません。

奨学金支給条件

安倍フェロシップ奨学金の支給条件は、研究者の各々異なるキャリア段階のニーズに応えられるよう柔軟性をもった内容になっています。安倍フェローは、採用の翌年4月1日から12月31日までにフェロシップを開始する必要があり、開始時点からの支給期間は3カ月以上12カ月上限とすることになっています。フェロシップの受給期間は連続しなくても構いませんが、フェロシップ開始後24カ月以内に研究を終了しなければなりません。

- 安倍フェロシップは、個人による調査研究プロジェクトを対象とします。但し、共同研究の枠組みの中にプロジェクトが位置づけられていても問題ありません。
- 全フェロシップ期間ののべ3分の1以上の期間を、相手国（米国または日本）で、研究滞在しなければなりません。また、安倍フェロシップ審査委員会は、付加的なネットワークづくりのための活動を具体的に推薦する場合があります。
- 安倍フェローは、日本または米国の研究滞在先で適切な研究機関に所属することが求められています。また、個々の研究ニーズに合わせ、第3国に滞在し調査研究を行なうことも可能です。
- 安倍フェローは、採用後、特定のプログラム・イベントに参加することが義務づけられます。

申請手続き

安倍フェローシップの申請はオンラインでのみ受け付けています。

詳しくは<http://www.ssrc.org/fellowships/abe-fellowship/> 

をご覧ください。申請締め切りは毎年9月1日です。ご質問はSSRC東京事務所にお問い合わせ下さい。

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-16-3

独立行政法人国際交流基金日米センター内


米国社会科学研究評議会（SSRC）東京事務所

安倍フェローシップ・プログラム


電話番号：03-5369-6085 ファックス：03-5369-6142

E-mail：abetokyo@ssrc.org

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください。）

[ページ上部に戻る](#) 


OFFICE

TOKYO OFFICE 

国際交流基金(ジャパンファウンデーション) 日米センター

160-0004 東京都新宿区四谷4-16-3

Tel(03)5369-6072 Fax(03)5369-6042

NEWYORK OFFICE 

The Japan Foundation Center for Global Partnership, N.Y.

1700 Broadway, 15F, New York, NY 10019, U.S.A

Tel (212)489-1255 Fax (212)489-1344

Copyright(c) The Japan Foundation, All Right Reserved.

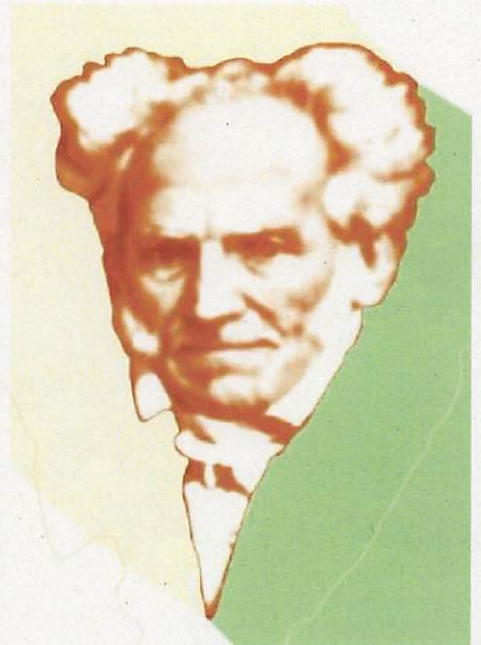
ショーペンハウアー研究の新世紀へ

——主著刊行 200 周年を機縁とした国際共同研究——

第2回国際会議個人研究発表の募集

ショーペンハウアーの主著『意志と表象としての世界』(1818/1819)が刊行されてから200年になります。これを記念し、計4回の国際会議が、日本学術振興会科学研究費補助金研究プロジェクト(「ショーペンハウアー研究の新世紀へ——主著刊行200周年を機縁とした国際共同研究」〔基盤研究(B)(一般)、課題番号:17H02281])として、日本ショーペンハウアー協会との密接な協力のもとで開催されることとなりました。

このうち、第2回国際会議『意志と表象としての世界』を読み直す——全体構想、各巻主題、そして「ショーペンハウアーと「東洋」>」(2019年2月19日[火]~22日[金]、龍谷大学大宮キャンパス)の個人研究発表の募集(Call for Papers)を下記の要領で行いますので、ご案内申し上げます。ことに、ショーペンハウアー研究の新地平を開拓する若手研究者の応募を歓迎いたします。尚、後続の国際会議は、2019年10月にドイツ・フランクフルト大学で、2020年2月に東京の日本大学での開催を予定しています。(※第1回国際会議のプログラムは以下のウェブサイト参照してください。<http://schopenhauer.org/www200/>内に掲載)



◆応募要領

参加資格：制限なし。

応募期限：2018年10月15日(月)

言語：ドイツ語または英語

審査：上記研究プロジェクトの編集委員会が行います(二重ブラインド審査)。

公開：発表原稿は公開されます(下記「規定」5も参照下さい)。

参加補助金：審査により採用された発表者のうちから2名を限度として、会場までの往復交通費(海外、および国内遠距離の場合は航空運賃エコノミークラス)と会期間の宿泊費とを支給いたします。

◆応募原稿に関する規定

1. 発表テーマ：次の①~③のテーマのうち、一つ(以上)に関連するもの。①『意志と表象としての世界』の全体構想。②『意志と表象としての世界』の各巻主題(いずれか一つの巻に扱われる主題を論じてよい)。③『意志と表象としての世界』と「東洋」。

2. 書式と提出先：

(1)MS-Word DOC/DOCX-Format および PDF-Format(ただし非スキャンデータ)を用い、本個人研究発表の募集にもとづく提出である旨を明記の上、下記事務局まで添付メールでお送りください。尚、必要に応じてプリントアウトした原稿または(USBメモリー等の)電子媒体の郵送をお願いする場合があります。

(2) A4サイズにて、余白は上35mm、下、左、右30mm。フォントはTimes New Roman。文字サイズはタイトル・本文・注・その他すべて12ポイント。文字間隔は標準。1ページ30行で10ページ以内(またはタイトル・本文・注・その他の行数合計300行以内)。

(3) 匿名による審査です。匿名性の確保のため、以下の点に留意して執筆・投稿してください。

※応募者の氏名、所属、連絡先等はメール本文に記載し、論文及び要旨には記載しないでください。

※自著を参照する場合も、「拙論」「拙稿」といった記載をせず、他の文献と同様に指示してください。

※氏名、所属、自著についての情報は、採用が決定した後にさせていただきます。

(4) 論文の独創性に焦点を合わせた要旨(約300語)を一緒に提出してください。

3. 審査基準：以下のウェブサイト参照してください。
<http://schopenhauer.org/www200/cfp/>

4. 審査結果の通知：採用の結果はできるだけ早く、遅くとも2018年11月30日(金)までに通知いたします。希望者には上記の審査基準に照らした点数をお知らせします。尚、応募原稿はお返できませんので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

5. 当日の国際会議でご発表いただいた原稿の著作権は、日本学術振興会科学研究費補助金研究プロジェクトチームに帰属します。

〔連絡先〕192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 創価大学文学部 伊藤貴雄研究室内 日本ショーペンハウアー協会事務局

E-mail: www200office@schopenhauer.org ウェブサイト: <http://schopenhauer.org/www200/>

第8回『泉大津市オリアム^{エッセイ}随筆賞』

応募要領



この随筆賞の「オリアム」とは、泉大津市の特産品である毛布・ニット・毛織物などを連想させる「織」と「編」に由来しています。

令和元年6月

泉大津市 地域経済課

1. 目的

国内生産の約9割を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることにより、地域産業の活性化を図ります。

2. 主催等

主催： 泉大津市 後援： 泉大津商工会議所

3. 募集期間

令和元年6月3日（月）～9月30日（月） ※ 9月30日（月）17:15必着

4. 応募資格

制限はありません。（最優秀賞（オリアム^{エッセイ}随筆賞）受賞者を除く）

5. テーマ

衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“繊維製品”に触れる内容にしてください。

6. 応募作品

- 応募者オリジナルの未発表と認められるエッセイで、日本語で書いたものに限り、また、他の賞などへの二重送稿された作品は不可とします。
※エッセイとは、暮らしの中で感じたこと、経験や意見を表現した文章をいいます。
- 作品の中で“繊維製品”に触れてください。
- 400字詰原稿用紙（A4）5枚。 ※4枚以下、5枚を超える場合は不可とします。
- 用紙の1行目に作品タイトルを、2行目から本文を記載してください。原稿用紙内に氏名の記載は不要です。
- パソコン推奨設定：ワードの原稿用紙設定を20字×20行、文字の大きさは12ポイント程度、用紙の上下左右の余白はそれぞれ3cm程度、右綴じ、縦書きでA4横判、下余白中央部分に通し番号（1～5）を記載してください。

7. 応募点数

一人2作品までとします。

8. 応募方法

- 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、次の住所に持参または郵送するか、以下に記載のメールアドレスに電子メールで送信してください。

○住所：〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号

泉大津市役所 地域経済課 オリアム随筆係 宛

○メールアドレス：essay@city.izumiotsu.osaka.jp

※ 応募用紙は市のホームページからダウンロード可能。

9. 選考

最終選考については、次の選考委員により決定します。

有栖川有栖氏、木津川計氏、難波利三氏、眉村卓氏（50音順）

なお、選考に関するお問い合わせには応じられません。

10. 賞金等

- 最優秀賞（オリアム^{エッセイ}随筆賞） 1 作品 （賞金 50 万円・賞状）
- 優 秀 賞 2 作品 （賞金 5 万円・賞状）
- 佳 作 3 作品 （賞金 3 万円・賞状）
- 泉大津市長賞 1 作品 （泉大津市特産品 2 万円相当・賞状）

賞状と副賞は表彰式で贈呈します。賞金は後日振込します。また、最優秀賞及び優秀賞の作品は、季刊誌『大阪春秋』に掲載する予定です。

なお、泉大津市長賞は、泉大津市在住者の応募作品を対象とします。

11. 発表

令和元年 12 月末に泉大津市ホームページへ掲載し、令和 2 年 2 月号広報紙で発表（氏名、住所（市区町村名まで）及び年齢等）する予定です。また、入賞者を含めた最終選考対象者には 12 月初旬頃に通知しますが、それ以外の方には通知しません。

なお、入賞者は、報道機関等にも記事提供しますので、場合により顔写真の提供をお願いする場合があります。

12. 表彰式

入賞者の表彰式は、令和 2 年 3 月頃に選考委員をパネリストに迎えたディスカッション形式の文学フォーラムとあわせて行います。

なお、入賞者には、原則として表彰式及び文学フォーラムへのご出席をお願いいたします。

13. 注意事項

- 応募作品は、著作権や肖像権に抵触しないように注意してください。応募作品にこれらの問題が発生しても、泉大津市には一切関係なく、その責任・解決は全て応募者が負うものとします。
- 入賞作品の著作権は泉大津市に帰属し、応募作品は返却しません。
- 応募作品が応募者オリジナルの未発表作品でないと判明した場合は、賞金と賞状を返還するものとします。

14. 問い合わせ先

泉大津市総合政策部 地域経済課

〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町 9 番 12 号（泉大津市役所）

TEL 0725-33-1131（代表） FAX 0725-32-6000

【選考委員プロフィール】

<有栖川 有栖>



ミステリーの最前線で活躍している代表的な推理作家。昭和34年、大阪市生まれ。同志社大学法学部卒。卒業後、書店勤務の傍ら作家として活動し、35歳のとき書店を退職。

平成15年、「マレー鉄道の謎」で日本推理作家協会賞、平成20年、「女王国の城」で第8回本格ミステリ大賞を受賞。

大阪に在住し、大阪を舞台にした作品も多い。作品の多くは中国、台湾、韓国でも翻訳出版され、TVドラマの原作にもなっている。現在まで、数々の文学賞選考委員を務めている。

<木津川 計>



昭和43年に自ら創刊した雑誌『上方芸能』は京阪神の芸能や大阪文化を幅広く紹介、論評する専門誌として、上方芸能界の課題を提示し続けてきたが、平成28年6月号をもって終刊となり、約半世紀にわたる歴史に幕を閉じた。

立命館大学名誉教授、兵庫県川西市生涯学習短期大学レフネック名誉学長。NHKラジオ（関西エリア）で「ラジオエッセイ」を毎週1回レギュラー担当しており、大阪弁のやわらかい語りファンも多い。京都市芸術功労賞。菊池寛賞（平成10年）他を受賞。

<難波 利三>



昭和59年、「てんのじ村」で第91回直木賞受賞。現在、日本文芸家協会会員、日本ペンクラブ会員、出身地の島根県大田市で、新しい文化の創造と交流事業の拡大を目的として創設された「難波利三・ふるさと文芸賞」の審査委員長を務める。

主な著作に「てんのじ村」「大阪希望館」、「舞台の恋人」、「小説吉本興業」、「私の大阪散歩」などがある。近年、大阪の文化振興、町づくりに積極的に関わっている。

<眉村 卓>



がんを宣告された妻に5年間自作のショート・ショートを書き続けた実話をもとにした映画が平成23年1月に公開され、その夫婦愛が感動を呼んだ。大阪大学経済学部卒。会社勤めをしながらSF同人誌に参加。

昭和36年、第1回空想科学小説コンテストで佳作入選し、デビュー。昭和54年、「消滅の光輪」で泉鏡花文学賞、昭和62年、「夕焼けの回転木馬」で日本文芸大賞を受賞。日本ペンクラブ副会長を歴任した。